昭和40年4月5日第三種郵便物認可
（旧「公衆衛生」）

2017年3月1日発行
第592号（通算）
発行：奇数月1日
会員購読料：1月10円(年間60円)
一般購読は別途送料

環境づくり・健康づくりのコミュニティ情報紙

環境と健康

発行者
一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
佐藤　均
広島市中区広瀬北町9番1号
郵便番号　730−8631
電話　082−293−1511番
振替口座01380−2−27511
URL　http://www.kanhokyo.or.jp/

「脱温暖化推進員フォーラム2017」開催

実践活動の活性化ねらい情報交流

2月10日に、「脱温暖化推進員フォーラム2017」を合人社ウェンディひと・まちプラザで開催し、県内各地から約60人が参集しました。脱温暖化センターひろしまでは、県内で行われている脱温暖化活動の情報や課題などの共有および交流を通じて、温暖化防止活動の輪を広めようと、毎年開催しています。

午前は、広島県環境県民局環境政策課岡田様から「地球温暖化対策の動向～家庭部門を中心として～」と題して、国・県の取り組みの方向性、家庭部門における県の新たな取り組みを整理して分かりやすく紹介していただきました。県内の二酸化炭素排出量は、減少傾向にありますが、家庭部門は増加傾向であり取り組みを強化しなければなりません。

午後は、①「行政との係わり」を考える②「環境家計簿の活用」を考える③「マンネリ化打破」「仲間づくり等」を考えるの3つのテーマに分かれてグループワークを行い、参加者が興味のあるテーマを選択して解決策や事例などを話し合いました。

参加者からは、「他団体との情報交流が課題解決のきっかけになる」「参加者と企画者が楽しいと感じる企画の展開が重要」などの声が聞かれ、今後の事業活性化につながるヒントが得られたようです。

分科会後の全体会では、「わたしのCOOL CHOICE 大募集！」事業の投票結果の発表および表彰式を行いました（関連記事2面参照）。

当センターでは、今後もコミュニティを基盤とした交流事業を通じて、温暖化防止活動を推進していきます。

（脱温暖化センターひろしま）

分科会②環境家計簿の目的について話し合う（上）、分科会③マンネリ打破・仲間づくりについて意見交換（下）

平成28年度食のセミナー開催

食の安全と安心のために

食の安全・安心をテーマに毎年実施している食のセミナーを、2月8日に開催しました。当日は、行政関係者、食品事業者など100人が参加しました。

今年は、(有)食品環境研究センターの新蔵登喜男代表に「食品企業におけるHACCPの導入について」と題し、HACCPのメリットと、導入に成功するための具体的な取り組み方法や注意点について講演をいただきました。

続いて、(株)阪急クオリティーサポートの野口健太郎検査・コンサル担当マネージャーに「食品流通販売業としての衛生管理について」と題し、第三者監査の立場から衛生管理の重要性について実例を紹介しながら講演していただきました。

最後に、当協会からの情報提供として、国のHACCP制度化に向けた導入支援事業を紹介しました。食品事業者様のHACCPシステム構築のお手伝いができればと思います。

参加者からは、「HACCP導入に向けて頑張りたい」「衛生管理の実例が参考になった」などのご意見がありました。

当協会は、これからも食の安全と安心のための情報発信をしてまいります。

（環境生活センター　食品衛生課）

琴線歌（きんせんか）

仕事と子育ての両立

私が働く健康科学館は健康をテーマとした科学博物館ですが、実はもう一つ別の大切な仕事もしています。子育て支援です▼乳幼児と保護者が一緒に来て遊ぶ「つどいの広場」は10時から15時まで、開館日であれば毎日開いています。いざという時、子育てを助けてほしい人と助けたい人が会員となり、子育てを行う「ファミリーサポートセンター」。第二子を妊娠中の夫婦に助産師が出産や育児の手ほどきをし、先輩パパが育児体験や仕事との葛藤とその解決法、時にはママに言って激怒されたNGワードなども語る「プレパパママ育児スクール」。驚いたのは、若い男性の子育て意欲の高さです。プレパパママ育児スクールは毎回、子育てに積極的に関わりたいという人ばかり。「つどいの広場」では、パパが乳幼児と一緒にやってきて、おむつを替え、ミルクを飲ませ、とても上手に遊ばせます。子どもたちもパパが大好きで、安心して遊んでいます▼子どもと過ごす時間を大切にしたい、その一方で、子どもができたから仕事もこれまで以上に頑張りたいと、仕事と育児の間で悩む親は多いようです。夫婦間の協力はもちろんですが、その夫婦の職場の理解や周囲の協力がとても重要です▼職場の上司や組織の方針決定をする人たちが、若い親達の思いを理解し、経験と知恵で仕事の効率を上げ、子育てしやすい職場に変えていく。加えて、地域においても、小さな子どもを持つ親に、近所の人が気やすく支援の手を伸べる。そうすれば、男女ともに安心して仕事も子育てもできるのではないでしょうか▼若い親達が仕事と子育てを両立できる環境づくり、少子化社会を生きる私たちにはとても大切なことだと思います。

（広島市健康科学館館長　髙尾ひとみ）

一般財団法人 ～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
広島県環境保健協会
〒730-8631 広島市中区広瀬北町９番１号（広島県公衆衛生会館）
TEL:082(293)1511［大代表］　FAX:082(293)1520　かんほきょう　検索
基本理念　～みんなの生命（いのち）をまもりたい～
私たちは、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組み、地域社会の発展に貢献します。

一般財団法人広島県環境保健協会
おかげさまで60年 住みよい未来を これからも

おかげさまで60年
住みよい未来をこれからも

60周年記念ロゴマーク

このマークは、60でハートを表現、情熱と健康をイメージしています。取り巻く輪は環境を表します。

私たちは、公衛協や地域住民をはじめ、行政や企業など、さまざまな人たちのおかげで60年を迎えることができ、これからも支えてくださる方々への感謝の気持ちを忘れずに『みんなの生命（いのち）をまもりたい』の理念の下、健康づくりと住みよい環境づくりに取り組んでまいります。